



宝永地区社会福祉協議会 たからサロン



小物づくりも若者には負けないぞ！

宝永地区自治会型デイホーム「たからサロン」は、8つのブロックに分かれており、今回はその中の「たからサロン松本下中ブロック」のデイホームをご紹介します。

この日は、福井市医師会看護専門学校の見習い学生さん2名も実習でデイホームに参加されました。

ちょうど手作りの日で、木製ピンチにフェルトでバラの花を付けた飾りを作り、老若男女一生懸命に製作されました。若い人には負けない！と、利用者さんもいつもより頑張っていたかも。

参加された男性からは、「こんな可愛いのに何に使っちゃの。」と聞かれました。「とても目立つので重要な書類を挟んで、なくさないようにしてんどの。」と言いつつ、「これやとなくさんわ。」と笑っていました。

宝永地区専任職員 志摩 むつみ

鷹巣地区社会福祉協議会



少人数ならびは

鷹巣地区自治会型デイホームでは、少人数の時に合うゲームがあります。その中の一つ「ザマインド」をご紹介します。このゲームは、1〜100までの数字カードを準備して4〜5人で行います。各自1枚ずつカードを持ち、小さい順に出し切ることを目指す、協力ゲームです。

ルールも簡単で、出すカードは小さい順であること、お互いに相談することはできません。終始無言で行うので、アイコンタクトを駆使して自分のカードを出すタイミングを図るところが面白いゲームです。

しかし、メンバーが違ったり、交代したり、その都度顔合わせも異なり、なかなか無言には耐えられません。「私は高齢者だわ」とか「青春時代だわ」などと具体的な数字は言わずにヒントを出し合い、成立させた達成感は特別なものでした。

鷹巣地区専任職員 小嶋 美雪